

## ( 参 考 )

### 長崎県カーネーションの生産状況

他の切り花との競合や輸入カーネーションの増加等により、平成元年をピークに国内のカーネーション生産量が減少している中で、本県産カーネーションは品質の高さが評価され、意欲的な生産がなされています。

長崎県における令和4年の産出額は8億円となっており、13,400千本（全国6位）が出荷されています（作付面積1,420a）。

県内の主な産地は、諫早市、大村市、雲仙市、佐世保市で、各産地とも優れた栽培技術により高品質のカーネーションが生産されています。

### 全国での順位等（令和4年）

#### （1）栽培面積

順位	都道府県	栽培面積(a)
1位	長野県	6,840
2位	愛知県	3,980
3位	北海道	2,520
4位	千葉県	1,600
5位	長崎県	1,420
6位	兵庫県	1,410
7位	福岡県	803

#### （2）出荷本数

順位	都道府県	出荷本数（千本）
1位	長野県	41,900
2位	愛知県	34,600
3位	千葉県	17,600
4位	兵庫県	17,100
5位	北海道	16,900
6位	長崎県	13,400
7位	静岡県	8,520

令和4年産花き生産出荷統計（農林水産省）

### 長崎県花き振興協議会の概要

県内市町、農業協同組合、花き市場、花き生産者等により構成された長崎県を代表する花きの組織。平成10年7月31日設立。本会として各種花き振興対策に取り組むとともに、6専門部会（カーネーション、洋らん、きく、鉢物、ばら、草花）と花き青年部を組織し、それぞれ活発に活動している。

### 長崎県花き振興協議会カーネーション部会の概要

県内カーネーション生産農家により平成10年に組織。県内の花き関係機関・団体等の協力の下、カーネーション新品種の栽培試験や消費拡大PR、全国の生産者との情報交換等の活動を積極的に行っている。

現在、16戸の県内生産者により構成されている。

### 母の日の由来

「母の日」にカーネーションを贈る習慣は、1908年にアメリカのアンナ・ジャービスという女性が、母の命日の5月9日に教会でこの花を配ったことから始まり、その数年後、第28代大統領ウッドロー・ウィルソンが「世界で最も良い母であるあなたの母に捧げる日」と名付けたと言われ、日本へは戦後入ってきた。

# 長崎県花き振興協議会 カーネーション部会



資材・燃油の高騰など課題は多いですが、管理を徹底し、高品質なカーネーションができました！！



## カーネーション部会長 東 圭史郎（雲仙市）

自らの圃場で県オリジナル品種の試作を行い、試作結果を部会員に提供  
部会長として積極的に県産カーネーションをPR

### 令和5年度活動実績

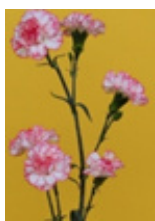
「母の日」に伴う長崎県知事へ  
カーネーション贈呈、県庁花き展示



「ながさき花の展示会」でのカーネーション配布

令和5年度長崎県花き品評会への出品

293点の出品の中から、開田浩幸氏（大村市）が九州農政局長賞を受賞



県オリジナル品種  
「ひめかれん」  
出願公表 R元.10.28

長崎県のカーネーションは**産出額全国6位！**  
県産カーネーションは花が大きく、茎が固く、  
日持ちが良いのが特徴です！！  
**「暮らしの中に、花を！」**